

すわみつえ通信

No.96 2019年 10月28日(月)

日本共産党鴻巣市会議員

諏訪 三津枝



連絡先 鴻巣市赤見台3-2-7
TEL: 596-9440 FAX: 507-4151
携帯: 080-5039-2785
E-mail: mi-suwa@ezweb.ne.jp
mitsue-suwa@jcom.zaq.ne.jp

WEBで

すわみつえ



ホームページで、すわみつえの政策とお約束をご紹介します。

福祉・教育最優先の街づくり 市民の声を生かし いのちとくらしを守る市政に

洪水警報が出た新ごみ処理施設
建設予定地付近＝10月25日



国が機械的に基準を決め病院を名指しして、議論を迫る異例の手法は強い反発を呼んでいます。全国知事会など地方3団体は「地域住民の不信を招いている」とする意見書を出しました。

全国知事会などが国に意見書

厚生労働省は、地方自治体が運営する公立病院と、日本赤十字や済生会などが運営する公的病院の再編統合に向けた議論を促すとして、全国424の病院名を公表しました。

重症者に対応する「高度急性期」病床などがある全国1455病院を分析し、がん治療や救急医療の実績が少なかったり、車で20分以内に、似た診療実績のある別施設が存在したりする病院などをリストアップしたものです。病床の削減や、診療科の集約への動きを加速させることが狙いです。

地域医療壊すな！

公立・公的病院の再編統合に病院名公表

伊藤岳参院議員と国会内で厚労省担当者からレクチャーを受ける



参院議員会館にて聞き取り＝10月23日

厚生労働省が再編統合の議論が必要と判断した公立・公的病院名を公表した問題で、10月23日(水)、日本共産党の伊藤岳参院議員・梅村さえこ衆院北関東比例予定候補が厚生労働省担当者から聞き取りを行いました。すわみつえ議員は日本共産党県議団県内地方議員とともに参加しましたのでご報告致します。

埼玉県では、病院が公表され、医療計画をつくる県が、病院などと協議しながら、2020年9月末までに対応方針を決めるよう国から求められています。

「市立病院の構想を今年3月にまとめ議論を始めたばかり。地方のこの取り組みに水を差す発表だ。患者・医師・看護師から不安の声が上がっている。」(蕨市議)

「国の許可を得て、今年建て替えたばかり。議論の材料として提供しただけというなら、なぜ病院名まで公表するのか。」(さいたま市議)

「民間がやらない産科を市立病院が担ってきた。黒字化にするために頑張っている中での公表で、患者不安をおおるだけ。病床数に対して交付税が措置されてきたが、今後は稼働数に対しての交付税に変わるのか。」(梅村さえこ等、多くの質問と実情の訴えが出されました。)

住民の命と健康に責任を

再編統合の7病院のひとつである北里メディカルセンターに、救急搬送などの医療連携をとっている鴻巣市としても看過できないことです。

鴻巣市に病院誘致を求めると同時に、国が進める公立・公的病院の再編統合には地域から意見を述べていきます。

「秋のクリーン鴻巣市民運動」に参加。自治会の皆さんと一緒に街をきれいにしました。気持ちの良い1日になりました。
10月27日(日) 赤見台



毎週朝 駅頭においてホットなニュース「すわみつえ通信」をお届けします。

(月)吹上駅南口 (火)北鴻巣駅東口 (水)北鴻巣駅西口 (木)吹上駅北口 (金)鴻巣駅西口

教員の私たちが大変になるという問題にとどまらない。この国の教育をどう考えるか、という国民の問題なんですー▼1年単位の変形労働時間制導入に批判が強まっています。「繁忙期」に長く働かせ、「閑散期」の勤務時間を短くして夏休みも取りやすくする、と言い張る国。でも、「今は何とか頑張ろう」という無理は長続きしない。なぜなら生身の人間だから▼子育てや介護と両立ができなくなるだけではない。「乏しい生活時間が、さらに奪われる」と教員は危機感を募らせます。新聞を読めないどころか、テレビを見る気力さえわからない。平日の所定勤務時間が延びれば、学校と家との往復だけ。それでどうして、豊かな教育実践をつむぐことができるのかと▼「変形制」の名前通り、労働時間の総量は減らずに「変形」させて、負担軽減のようにごまかすしくみです。おしなべて教育にお金をかけないこの国の貧しい発想が、これほど浮き彫りになる施策も珍しい▼「教職員がこんなに過酷な労働を強いられているとは」「親として、教師を取り巻く環境の改悪ではなく改善を望みます」…。現役教員が呼びかけたネット署名には、保護者や市民からの声も続々と寄せられています。共産党は21日、長時間労働解消のための提言を発表。導入を許さない世論と運動を強めようと呼びかけます▼教員を人として尊重する。子どもを人として尊重する。この二つを重ね合わせてこそ、幸せな学校に。そのために、ほんの少しの勇気でその手をのばして。

教員の変形労働 導入に反対 共産党、長時間勤務 なくす「提言」発表

しんぶん赤旗 10月22日付



先生クタクタにして生徒と引き離す満
白川ただし

安倍政権は、公立学校の教員に1年単位の変形労働時間制を導入するため、公立教員給与特別措置法の改定案を、この臨時国会に提出しました。1年単位の変形労働時間制は、「繁忙期」に1日10時間労働まで可能として、「閑散期」とあわせて平均で1日当り8時間におさめる制度で、現在は民間のみ適用可能とされています。日本共産党の小池晃書記局長は、同改定案が教員の異常な長時間労働を加速しかねないとして、公立

共産党提言の骨子

- 一、問題を解決するどころか、平日の長時間労働を固定化、助長する
 - 学期中の労働時間がさらに長くなる
 - さまざまな弊害と矛盾
- 二、「教員の夏休みのため」という唯一の理由は成り立たない
 - 政府の宣伝のように、休みはとれない
 - 業務削減と代休等の保障こそ、休みがとれるようになる道
 - 教員の自主研修の保障
- 三、全国各地で「1年単位の変形労働時間制」を許さないとくみ
- 四、政府は、長時間労働をなくす抜本的な対策をとれ

学校の教員に1年単位の変形労働時間制を導入することに反対する共産党の「提言」を発表しました。

不思議な クニの 憲法

ドキュメンタリー映画
主な出演者
瀬戸内寂聴
長谷部恭男
孫崎享
伊藤真
船田元
三浦陽一
赤松良子
南基正
谷内修三
水野スウ
太田啓子
堅十朗子
辻仁美
他：
ナレーション
竹下景子



2016年5月に発表された本作品は、公開から3年目を迎え全国の市民による自主上映会が1000回を超えました。その間、幅広いジャンルの識者によるさまざまな意見を元に展開された議論にいちおうの区切りをつけて、憲法を主権者の手に取り戻すために

新しい角度の取材と再編集を加えた最新バージョンです。キーワードは「私の選択」。近い将来の実施が予想される国民投票にそなえ、日本が自分にとって「どんな国であって欲しいのか？」を映画を観て、一人一人が問いかけ合う場を広げて行きましょう。

「ユキエ」「折り梅」「レオニー」「何を怖れる」の松井久子監督によるドキュメンタリー作品第二弾。
監督／松井久子 音楽／長谷川久美子 プロデューサー／山田睦美 助監督／上村奈帆 撮影／野口高遠 直井佑樹 今津秀邦 須藤俊秋 橋波周平 伊藤元気 関口互 示野友樹 編集助手／庄耕太郎 英語字幕／藤平育子 事務局／二木由利子 高須生恵

鴻巣革新懇第9回総会・ドキュメンタリー映画上映のご案内

日時 **11月9日(土) 13:00開場 13:30開会**
会場 **クレアこうのす 小ホール** 参加費 **500円**

主催 平和・民主・革新の時代をひらく鴻巣の会(鴻巣革新懇)
問い合わせ: 鴻巣革新懇事務局 090-9376-1408(諏訪)